

第5学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「森林とともに生きる」 (10 時間)

2 小単元の目標

我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べてまとめ、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え表現することを通して、森林はその育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、国土の環境保全について自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①森林資源の分布や働き、保全の取組などについて、地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、国土の環境を理解している。 ②調べたことを文や関係図などにまとめ、森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。	①森林資源の分布や働き、保全の取組などに着目して、問いを見だし、国土の環境について考え、表現している。 ②森林と国土の保全や国民生活を関連付けて、森林資源の果たす役割を考え、学習したことを基に国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現している。	①我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について予想や学習計画を立て、学習を振り返り、学習問題を追究・解決しようとしている。 ②学習したことを基に、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。

4 目指す子供像

本小単元では、資料で調べたり、森林保全に関わる人々から聞いたりして「森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫・努力によって、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解するとともに、森林保全の課題を捉え、国民の一人として自分たちにできる森林保全につながる取組や協力できることを考え、未来の日本のよりよい森林保全を願い、自分たちにできることにすすんで取り組もうとする子供」を育成する。

5 教材について

本小単元では、日本の森林資源の豊かさ、森林資源の役割、森林保全の課題とともに、各関係機関の森林保全活動の取組について扱う。日本は、国土の森林の割合が約 66.3%と世界の中でも有数の森林大国であり、木材にすることに適した 50 年以上の人工林は全体の 6 割にのぼることからも森林資源が豊富であるといえる。しかしながら、林業家の減少や作業の難しさ、所有者不明の私有林など多岐にわたる課題があり、木材自給率は 42.9%に留まり、木材輸入率は 57.1%となっている。その背景には「育てる→伐る→加工する→利用する」という森林育成のサイクルがうまく循環していない現状がある。この現状に対して国、高知県土佐町、東京都など行政の各機関は、林業家を支援する取組や木材活用を推進する取組を行っている。また、どの機関の人々も「森を私たちの生活を守る大切な資源であると捉え、国民に森を知り関わりをもってほしい」という願いをもっている。さらに、林業家のNさんの「様々な取組をしているが現実の課題はまだ多い。一人一人が森林について考え、もっと関わりつながってほしい」という願いを取りあげることで、子供が森との関わりに目を向け、自分たちにできることを考えるきっかけとする。

「つなぐ」段階では、自分たちにできることの例として、新宿区のウッドスタート事業を扱う。ウッドスタート事業とは新宿区が新生児誕生のお祝い品として東京おもちゃ美術館が監修した伊那市の木製のおもちゃを送る事業である。この事例から木材を使用したりすることが木の育成サイクルを実現する一役になることに気付き、それまでに学んだことの中から自分たちの森林への関わり方について考え、すすんで森林保全につながる活動に協力していこうとする子供を育成する。

6 小単元の構想

学習 経験	<p>前小単元「自然災害とともに生きる」では、災害の種類・位置、防災対策などに着目して、地図帳や資料で調べ表にまとめ、国土保全と自然条件や防災対策を関連付けて考える学習を行ってきた。</p> <p>また、第5学年「これからの食料生産」では、関係機関の人々の協力関係、人々の思いや願い、持続可能性などに着目して、食料生産の発展について考える学習に取り組んだ。</p> <p>本小単元では、森林保全・活用に取り組む人の工夫・努力や協力関係に着目して調べたり、森林の働きと国民生活を関連付けて考えたり、人々の思いや願い、持続可能性に着目して森林保全のこれからを考えたりする学習を展開する。</p>
----------	--

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	見方・考え方を 働かせる資料・活動	子供が獲得できるように したい知識
つかむ	<p><学習問題をつかむ問い> わたしたちの身の周り にある木製品はどこから くるのだろう。</p> <p>日本の森林はどのように 広がっているのだろう。</p> <p>森林にはどのような働き があるのだろう。</p> <p>森林があるのになぜ国産 木材の利用率が少ないの だろう。</p> <p>林業に従事する人は日本 の森林についてどう考え ているのだろう。</p>	<p>生活と森林との関連に 着目して</p> <p>森林資源の分布・種類 に着目して</p> <p>森林の働きに着目して</p> <p>森林の課題に着目して</p> <p>森林保全に関わる人の 願いに着目して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの木製品 椅子ができるまで 逆再生動画 日本のランドサット 図 日本と世界の森林の 割合比較図 森林の働きの絵 木材蓄積率の変化 国産木材使用の割合 グラフ 手入れが行き届かない 森林の割合 林業従事者のグラフ 林業家Nさんの話 森林育成サイクル 	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちの身の周りには 様々な木製品があり、森から 木が伐られ、加工されて私た ちのもとに届いている。 日本は、国土の6割が森林で あり、森林大国であるといえ る。 森林はわたしたちに災害など から国土を守る機能があり、 とても大切だ。 林業で働く人が減り、大切な 森林の管理が行き届いておら ず、荒れた森林が多くなって いる。 林業家の人々は木を伐り、使 っていくことで森林育成サイ クルを循環させたいと願っ ている。
問題 学習	大切な森林を守るため、だれがどのようなことをしているのだろう。			
し ら べ る	<p><調べる問い> 林業家の人々はどのよう な取組をしているのだら う。</p> <p>国はどのような取組をし ているのだろう。</p> <p>東京都はどのような取組 をしているのだろう。</p> <p>新宿区はどのような取組 をしているのだろう。</p>	<p>森林保全・活用に取り 組む人の工夫・努力に 着目して</p> <p>協力関係に 着目して</p> <p>様々な立場 の取組を関 連付けて考 えて 森林と国土 保全や国民 生活を関連 付けて考え て</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書資料 (高知県での取組) 林野庁Iさんの話 森林環境税 ウッドチェンジ (概要) 東京都産業労働振 興局森林課Sさん の話 林業家支援活動 多摩産材活用推進 (概要) 新宿区環境対策課 Oさんの話 伊那市新宿の森 ウッドスタート 	<ul style="list-style-type: none"> 林業家の人たちは、森林組合 をつくり、互いに協力しなが ら森林のサイクルを回しなが ら林業を行っている。 国は、自治体と連携しなが ら、森林環境税など森林を保 全する仕組みを整える支援を している。国全体で森林を守 っていきたいと願っている。 東京都は、森林整備や林業家 の支援や多摩産材の活用を広 める取組を行っている。 新宿区では伊那市と連携して 森林保全を支援し、区民の森 林への関心を高めたいと願っ ている。
ま と め る	<p><特色や意味を考える問い> 日本の森林はどのように 守り育てられているのだ らう。</p>	<p>森林と国土 保全や国民 生活を関連 付けて考え て</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを関係 図にまとめる活動 林業家Nさんの話 	<ul style="list-style-type: none"> 森林は、林業家や国、都、区 など様々な人が協力しなが ら行っている取組によって守 り育てられており、わたした ちの国土を守っている。
つ な ぐ	<p><関わり方を考える問い> 森林の保全や活用にわた したちはどのように関わ っていったらよいのだら う。</p>	<p>持続可能性 に着目して 森林保全へ の願いに着 目して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京おもちゃ美術 館の方の話 一口館長 新宿の森ツアー ウッドチェンジ 多摩産材活用推進 林野庁Iさんの話 	<ul style="list-style-type: none"> 森を守ることはわたしたちの 生活を守り豊かにすることに つながる。国民一人一人が森 林保全や国産材の活用に関心 をもち、現在進めている様々 な立場の取組に協力し、関わ り続けていくことが大切だ。

7 授業づくりの手だて

(1) 各関係機関の人々の思いや願いに着目できる教材の工夫

小単元全体を通して、ゲストティーチャーや動画資料から関係機関の思いや願いに触れる機会を取り入れることで、人の思いや願いに共感しながら追究を進めたり、人々の工夫や努力について理解することができるようにする。例えば、「つかむ」段階では、林業家Nさんの「森林育成サイクルを回していきたい。」という願いに着目することで、それを実現する関係機関について問いをもつことができるようにする。「しらべる」段階では、各関係機関の取組とその人々の思いや願いを資料化し、思いや願いに着目しながら、人々の工夫や努力を追究することができるようにする。さらに、「まとめる」段階では、再度、林業家Nさんが抱く現実的な課題と出合わせて、「森に直接関わってほしい。」という願いを話してもらうことで、「つなぐ」段階の問題意識を醸成していく。



林業家
Nさん



林野庁
Iさん



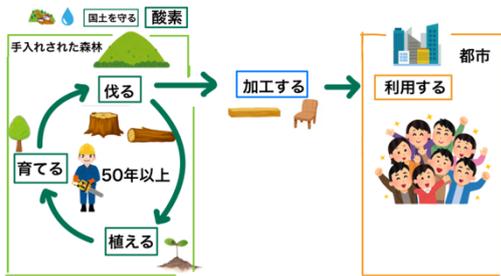
東京都
産業振興局森林課
Sさん



新宿区
環境対策課
Oさん

(2) 関係図（森林育成サイクル）にまとめる学習活動の工夫

「つかむ」段階で扱った林業家Nさんから教えてもらった森林育成サイクル図に、調べた各関係機関の人々の活動を付け加えていき、調べたことをまとめたり、そこから、森林保全に携わる人々の協力関係を見いだしたり、森林と国土保全や国民生活を関連付けて考えたりできるようにすることで、様々な立場の人の協力により森林が保全され、私たちの国土を守り、国民生活を豊かにしていることを理解できるようにする。



【森林育成サイクル資料「つかむ」段階】



【森林育成サイクル記入例「つなぐ」段階】

(3) モデル事例を基に自分たちが協力する活動を選び議論する学習活動の工夫

「つかむ」段階では、森林保全に協力する事例として、東京おもちゃ美術館の方から新宿区ウッドスタート事業についての話を聞き、そこで得た「森林と都市部をつなぐ」という視点を使って、今まで学んだ取組を振り返り、自分がよいと思う取組を選択し、議論する活動を行う。取組には、林野庁の「ウッドチェンジ」、東京都の「多摩産材推進事業」、新宿区の「伊那の森ツアー」、おもちゃ美術館の「一口館長」の取組を取り上げる。異なる立場の取組を選んで話し合い、多角的に自分たちと森林との関わり方を考えることができるようにすることで、現在進行形ですすめられている各関係機関の取組をモデルにしなが、国民が協力したり関わろうとしたりすることの大切さに気付き、進んで森林保全に協力していこうとする態度を育てたい。



【ウッドチェンジマーク】
(林野庁)



【多摩産材推進事業】
(東京都)



【しんじゅくの森看板】
(新宿区)



【一口館長】
(おもちゃ美術館)

8 小単元の指導計画（全 10 時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動●評価につながる学習活動 ◆問い・予想される子供の反応	◎資料 □教師の手だて 【評価】
つかむ	<p>森林と自分たちの生活とのつながりについて調べ、地図資料などから情報を読み取り、日本の森林の分布について理解できるようにする。①</p>	<p>◆わたしたちの身の周りにある木製品はどこからくるのだろう。</p> <p>○身の回りにある木製品を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの木の製品がある。 ・木はプラスチックより手触りがよい。 <p>○動画から木製品が届くまでを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの身の周りにある木製品は森林から木を伐り出してつくられている。 ・この椅子は東京の森から来ていた。 ・東京都より森林がある県がある。 <p>◆日本の森林はどのように広がっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は国土全体に森林が広がる世界の中でも森林大国だ。 ・東京の多摩地区には思った以上に森林がたくさんある。 <p>●本時で分かったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの身の周りには様々な木製品があり、森の木が伐られ、加工されて私たちのもとに届いている。 ・日本国土の6割が森林であり、日本は森林大国であるといえる。 	<p>◎身の周りの木製品（実物）</p> <p>□事前に木製品に触れる機会や環境をつくることで、木製品が身の回りには多くあり、木製品独特のよさがあることに気付かせる。</p> <p>◎椅子ができるまでの逆再生の動画</p> <p>◎東京都の森林率</p> <p>◎日本国土のランドサット図</p> <p>◎日本と世界の森林の割合の比較図</p> <p>【知技①】ノートの記述や発言内容から「資料を読み取り、森林と自分たちの生活とのつながりや日本の森林の分布について理解しているか」を評価する。</p>
	<p>資料を読み取って調べ、森林の働きや日本の森林保全の現状について理解できるようにする。②</p>	<p>◆森林にはどのような働きがあるのだろう。</p> <p>○森林の働きを資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林には土砂災害を防いだり、水を保つなどわたしたちの国土を守る働きがある。 <p>○森林蓄積率の変化と国産木材利用率を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の6割の人工林が50年以上の切り出せる森林だ。 ・森林はあるのに、自給率が40%しかない。 <p>◆森林があるのに、なぜ国産木材の利用率が低いのだろう。</p> <p>○手入れされた森林と手入れされていない森林の写真から手入れが行き届いていない森林がある背景を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6割も手入れが行き届いていない。 ・農業と同じように、林業家が減ってしまっていて手入れが行き届いていない。 <p>●本時で分かったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林はわたしたちに災害など国土を守る機能があり、とても大切だ。 ・大切な森林の管理が行き届いておらず、荒れた森林が多い。このままでよいのだろうか。森林に関わる人はどうしているのだろうか。 	<p>◎森林の働きイラスト</p> <p>□森林がある時とない時のイラストから、森林の国土保全の役割について気付くことができるようにする。</p> <p>◎森林蓄積率の変化グラフ</p> <p>◎国内木材使用の割合グラフ</p> <p>□2つのグラフを比較することで利用率の低さに着目できるようにする。</p> <p>◎手入れが行き届かない森林の割合グラフ</p> <p>◎森林従事者の減少グラフ</p> <p>【知技①】ノートの記述や発言内容から「森林の働きや日本の森林保全の現状について理解しているか」を評価する。</p>

	<p>日本の森林保全の課題や保全の取組に着目して学習問題や学習計画を立て、その解決に向けて追究の見通しをもつことができるようにする。③</p>	<p>◆林業に従事している人は日本の森林についてどう考えているのだろう。</p> <p>○林業家Nさんの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林は「植える、育てる、伐る」というサイクルを回していくことが大切だ。 ・伐ることはできても、持ち出せないなどサイクルがうまく回らないことがある。 ・様々な人の力を借りながら、少しでも森林のサイクルが回るように努力しているんだ。 <p>●Nさんの話から考えたことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人と力とはどのような人たちのことなのだろう。 ・自然災害の時のように、林業家だけでなく、行政もきっと関わっていると思う。 ・Nさんがいる東京都より森林が多い県は大変だ。一番の高知県はどうかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大切な森林を守り育てるために、だれがどのようなことをしているのだろう。</p> </div> <p>○学習問題を解決するために、どのようなことを調べたらよいかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業家はどのような取組をしているのか日本第一位の高知県ではどうなのか。 ・国はどのような取組をしているのか。 ・東京都はどのような取組をしているのか。 ・新宿区はどのような取組をしているのか。 <p>●つかむ段階の学び方を振り返り、学び方カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の防止のように行政が連携し合って、森林保全をしているのではないかと思う。なので、林業家についてはみんなまで調べ、行政は比較しながら、それぞれで調べていくようにしたい。 	<p>◎林業家Nさんの話（動画）</p> <p>◎森林育成サイクルの絵</p> <p>□森林保全のサイクルを確認する。</p> <p>□森林の現場で働く人の思いや願いに着目できるようにする。</p> <p>【思判表①】ノートなどの記述から「日本の森林保全の取組に着目して問いを見いだしてしているか」を評価する。</p> <p>□まだ分からなかったことを話し合い、保全の取組について着目させ、学習問題を設定する。</p> <p>◎森林率上位の県の順位</p> <p>◎各機関が出しているポスター</p> <p>◎前小単元の学習計画表</p> <p>□前小単元の計画やポスターをもとにして、行政など、だれのどんな取組を調べるよいかを考えることでできるようにする。</p> <p>□学習計画は問いの形で立てる。</p> <p>【態度①】学び方カードの記述から「学習問題について学習計画を立て、追究の見通しをもととしているか」を評価する。</p>
<p>し ら へ る</p>	<p>（共通で学習）教科書などの資料を読み取って調べ、林業家の森林保全の取組について理解できるようにする。④</p>	<p>◆林業家の人はどのような取組をしているのだろう。</p> <p>○林業家の取組について教科書で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Nさんと同じように、木を管理して、森林を守っている。 ・森林組合をつくり林業家同士で協力している。 ・小型の機械利用などを使って林業を続けられるようにしている。 <p>●林業家の森林保全の取組について分かったことや考えたことをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業家の人たちは50年もかけて、森林のサイクルを回しながら、森林を育てた 	<p>◎教科書資料</p> <p>□前時Nさんの森林保全サイクルと比較しながら調べるようにする。</p> <p>□今後の調べる学習の基盤となる森林の育成サイクルと林業家の仕事を全員で共通に学習する。</p> <p>【知技①】ノートの記述から「資料を読み取って調べ、林業家の森林保全や森林活用についての取組を理解しているか」を評</p>

	り守ったり伐って出荷したりしている。また、森林組合をつくり、互いに協力しながら林業を行っている。	価する。	
<p>(調べる方法や順番を選択して学習) 資料や調べる順番を選択して、3つの問いについて調べ、国では地方自治体と連携して、森林保全の制度を整える支援をしていること、東京都では林業家の支援や多摩産材の活用の推進していること、新宿区では姉妹都市と連携し森林保全や森林活用の取組をしていることを理解できるようにする。⑤⑥⑦</p>	<p>◆国はどのような取組をしているのだろう。</p> <p>○林野庁の森林保全のための取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国有林を管理している。 ・森林環境税を効果的に使えるようにしている。 ・ウッドチェンジプロジェクトを行い、国民や企業が森林に関わることができるようにしている。 <p>●国の森林保全の取組について分かったことや考えたことをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国は、林野庁を中心に地方自治体と連携しながら、森林環境税など森林保全の仕組みを整える支援をしている。また、ウッドチェンジなど木材を使用する企業に補助金を出して木材を使用してもらう取組をし、国全体で森林を守っていきこうとしている。 <p>◆東京都はどのような取組をしているのだろう。</p> <p>○東京都の森林保全のための取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備のために森を管理する補助金を林業家に出して支援をしている。 ・多摩産材を活用した製品作成支援やPR活動をし、都民が森林とつながることができるようにしている。 <p>●東京都の森林保全の取組について分かったことや考えたことをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都では、森林整備や林業家などに補助金を出し、支援などを行っている。また、多摩産材の活用を広める取組をし、木材の消費を増やし森林を守っていきたいと願っている。 <p>◆新宿区はどのような取組をしているのだろう。</p> <p>○新宿区の森林保全のための取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那市、沼田市、あきる野市にしんじゅくの森を作り、森の管理を行っている。 ・しんじゅくの森ではカーボンオフセットの取組が行われている。 ・しんじゅくの森ツアーやウッドスタート事業などで区民が森林と関わることがで 	<p>◎林野庁の取組についての自作資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国有林管理 ・森林環境税 ・ウッドチェンジ <p>【知技①】ノートの記述から「資料を読み取って調べ、国では地方自治体と連携し、森林保全の制度を整える支援をしていること理解しているか」を評価する。</p> <p>◎東京都に取組についての自作資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林支援事業 ・多摩産材活用推進事業 <p>【知技①】ノートの記述から「東京都では林業家の支援や多摩産材の活用の推進をしていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>◎新宿区に取組についての自作資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しんじゅくの森 ・ウッドスタート事業 <p>【知技①】ノートの記述から「新宿区では</p>	<p>□調べたことを見開き一ページでまとめることができるようにする。</p> <p>□調べながら、Nさんの森林育成サイクルに付け足すようにする。</p> <p>□教師が学習進度表をもとに個の学習を見取り、適宜支援を行う。</p> <p>□難しい子供にはワークシートを用意し、選べるようにする。</p> <p>□子供が各資料や木製品に触れられる学習環境を整える。</p>

		<p>きるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新宿区の森林保全の取組について分かったことや考えたことをノートにまとめる。 ・新宿区では3市と連携してしんじゅくの森をつくり、森林保全を支援している。また、ウッドスタート事業など、森のない新宿区民も森林と関わり、森林に関心をもってほしいと願っている。 	<p>姉妹都市と連携し森林保全や森林活用の取組をしていることを理解しているか」を評価する。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ●調べたことを学級全体で確認し合う。 ○調べる段階の学び方を振り返り、学び方カードに記入する。 	<p>□ノートに書いたそれぞれの問いのまとめを吟味し、検討していくことで、学級全体で学びの質が保障できるようにする。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>調べて分かった様々な立場の取組を関連付けて図にまとめ、森林の働きと国民生活との関連付けてを考えると通して、森林は関係機関や様々な人々が協力して森林を保全し、その人々の工夫や努力により、国土の保全などの重要な役割を果たしていることについて理解できるようにする。⑧</p> <p>【本時 I】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の森林はどのように守り育てられているのだろう。 ●学習問題について考えたことをノートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・森林の育成や木材の利用など、多くの場面で国、都、区が様々な工夫や努力をすることで林業家を支援し、森林育成サイクルが回っている。 ・林業家を国、都、区などが支え、応援する仕組みによって森林保全の課題を解決しようとしている。 ●森林の働きと国民生活とのつながりについて考えたことを話し合い、ノートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人々の森林育成サイクルを回す努力によって、森林が保全され、災害が防止され、国土が守られている。 ・森林育成サイクルが回ることで、森は水源や自然環境を守るなどの機能を果たすことができ、わたしたちの暮らしを支えている。 ○Nさんの話（動画）を聞き、作成した関係図を基にもっとよくなると良い部分を考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・林業家を支える取組は関係図にたくさんあるけれど、木を利用する側から森林に向けた取組がない。 ・わたしたちのような「木を利用する側」が森林に関わる方法を考えることで、問題を解決できるのではないか。 ○本時の学習を振り返り考えたことをノートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・森林は多くの人々の協力で守り育てられていることが分かった。 ・森林サイクルがこれからも回るよう林業家の人たちを応援する方法を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎関係図やノート □板書に関係図を掲示し、調べたことを振り返る。 【知技②】関係図の記述や発言から「森林はその育成や保護に従事している人々の様々な工夫や努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解しているか」を評価する。 【思判表②】関係図やノートの記述から「森林と、国土の保全や国民生活を関連付けて、森林資源の果たす役割を考え、表現しているか」を評価する。 □教師が適宜、問い返しを行い、森林を利用する側と、森林機能のつながりを説明できるようにする。 ◎Nさんの話 □将来に向けた課題意識や解決を考えようとする意欲をもてるように課題や林業家としての願いを話してもらう。 □子供の振り返りから、次時以降、森林保全に繋がる取組について、自分たちが協力できることを考えるという学習の見通しをもてるようにする。 	

<p>つなぐ</p>	<p>学習してきたことを基に、国民の一人として森林保全につながる取組や協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現することができるようにする。⑨</p>	<p>◆森林の保全や活用に私たちはどのように関わっていったらよいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京おもちゃ美術館の人からウッドスタート事業の話聞き、森林育成サイクルが回るために大切なことは何かを話し合う。 ・切り出した木を私たちが使っていくことで、木のサイクルが回り出すのではないか。 ・ウッドスタート事業でもらったおもちゃを大切にしたり、次の世代につないだり、木を大切に楽しく使っていくこともサイクルを回し続けることにつながるのではないか。 ●森林保全や活用について自分たちが関わることができそうなことを話し合い、自分が協力したいと思う取組を選択し、その理由をノートに書く。 ・ウッドチェンジや多摩産材を使用をしている企業のものを買って使うことが大切だと思う。 ・伊那の森ツアーなどまず、自分が森林に触れる機会に参加していくことが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎関係図やノート ◎東京おもちゃ美術館の方の話 □教師がGTの話を図解化して板書する。 □東京おもちゃ美術館の人に子供の考えに適宜アドバイスをしてもらう。 【思判表②】ノートの記述から「学習したことを基に森林保全・活用について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。 ◎おもちゃ美術館一口館長資料 ◎林野庁ウッドチェンジ資料 ◎東京都多摩産材推進活動資料 ◎新宿区伊那の森ツアー
	<p>学習してきたことを基に、国民の一人として森林保全につながる取組や協力できることを考え話し合い、すすんで森林保全の取組に協力しようとする態度を養う。⑩ 【本時Ⅱ】</p>	<p>◆森林の保全や活用に私たちはどのように関わっていったらよいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が選択した取組とその理由を話し合い、森林育成サイクルをどのように回していくのか話し合う。 ・新宿区のツアーを活用して、伊那の森に行ってみるのが良いと思う。実際に森に触れて森の良さを感じることが大切だ。よさを感じることで活用につながり、サイクルが回っていくと思う。 ・多摩産材など東京都が利用を推進しているものを使っていくことで、サイクルが回っていくのではないか。 ○自分の選択で課題が解決するか話し合う。 ・自分たちの取組も大切だが、林業家自体を増やしていくことも大切だ。 ・自分たちと行政の制度の両方を整えなければならないのでは。 ●林野庁Iさんの話を聞いて、これからの自分たちの森林への関わり方について改めて考えたことをノートにまとめる。 ・林業家を支援する制度を整えていくことはもちろん、関係機関に任せるのではなく、関係機関の取組を活用しながら、私たち国民一人一人が森林保全・活用に関心をもち、大切な森林と関わり続けようとするのが大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎前回までのノート ◎森林育成サイクル □板書に、子供が示したサイクルの矢印を追加していく。 □教師が適宜、問い返しを行い、理由を明確にして話し合いができるようにする。 ◎林野庁Iさんの話 <ul style="list-style-type: none"> ・子供の話し合いへの感想 ・森林環境税について ・課題に対する先事例の紹介 ・子供へのメッセージ □これからの森林保全に希望がもてるように、課題を解決する取組等を紹介してもらう。 【態度②】発言内容やノートの記述から「学習してきたことを基に、国民の一人として森林保全につながる取組や協力できることを考えようとしているか」を評価する。

(1) 本時のねらい

森林と国土保全や国民生活を関連付けて図にまとめ、森林資源が果たす役割を考えるを通して、森林は、関係機関や様々な人々の工夫や努力、相互協力によって保全され、国土の保全などの重要な役割を果たしていることについて理解できるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 5分	○これまでの学習を振り返る。 日本の森林はどのように守り育てられているのだろう。	◎関係図やノート □森林を守り育てる人々とその取組を確認する。
展開 30分	<p>●学習問題について考えたことをノートにまとめ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林は、林業家を中心に、国、都、区など様々な人々の努力やお互いの協力によって守り育てられている。 森林の育成や木材の利用など、多くの場面で国、都、区が様々な工夫や努力をすることで林業家を支援し、森林育成サイクルが回っている。 林業家を国、都、区などが支え、応援する仕組みによってサイクルを回すための課題を解決しようとしている。 <p>●関係図を基に、森林の働きと国民生活とのつながりについて考えたことを話し合い、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業家の抱える課題に対して、国、都、区が支援することで森林が守り育てられて、わたしたちが木材を使うことができるようになっていく。 様々な人々の森林育成サイクルを回す努力によって、森林が保全され、災害が防止され、国土が守られている。 森林育成サイクルが回ることで、森は水源や自然環境を守るなどの機能を果たすことができ、わたしたちの暮らしを支えていることになる。 <p>○Nさんの話（動画）を聞き、作成した関係図の中でもっとよくなると良い部分を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業家を支える取組は関係図にたくさんあるけれど、木を利用する側から森林に向けた取組が少ない。 わたしたちのような「木を利用する側」が森林に関わる方法を考えることで、問題を解決できるのではないかな。 	<p>□ノートにまとめられない児童には、教師が問い返しを行い、森林を利用する側と森林機能のつながりに着目させる。</p> <p>◎関係図やノート</p> <p>【知技②】関係図の記述や発言から「森林はその育成や保護に従事している人々の様々な工夫や努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】関係図やノートの記述から「森林と国土の保全や国民生活を関連付けて、森林資源の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。</p> <p>◎Nさんの話</p> <p>□森林保全と国民のつながりに関する課題と林業家としての願いを話してもらおう。</p>
まとめ 10分	<p>○本時の学習を振り返り考えたことをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林は多くの人々の協力で守り育てられていることが分かった。 森林のサイクルがこれからも回るよう林業家の人たちを応援する方法を考えたい。 	<p>□子供の振り返りから、次時以降、森林保全につながる取組について、自分たちが協力できることを考えるという学習の見直しをもてるようにする。</p>

(3) 板書計画

問い 日本の森林はどのように守り育てられているのだろう

学習問題
大切な森林はだれがどのように守り育てているのだろう。

学習問題に対する考え

- 林業家を中心に、国、都、区が支えている。
- たくさんの人々の努力や協力で森林が守り育てられている。
- 森林育成のサイクルが回るように人々が協力し合っている。

森林の働きとわたしたちのつながり

- 森林が守り育てられることで、災害を防ぐ役割を果たしている。
- 森林から切り出された木がわたしたちの暮らしの中で利用されている。
- 森林があることで、水源や環境が保たれている。

問いに対する考え

Nさんの話

- 取組によって変わってきている。
- 木を切り出しても出荷できない。
- 林業家だけでは解決できない。
- どうしたらよいか考えてくれるとうれしい。

Nさんの話を聞いて

- 利用する側から森林に向けた取組が必要
- 森林に関わる方法を考えることよいのでは。

今日の学習から考えたこと

10 本時の学習Ⅱ (10/10 時)

5年2組 授業者 ○○○○

(1) 本時のねらい

学習してきたことを基に、国民の一人として森林保全につながる取組や協力できることを考え話し合い、すすんで森林保全の取組に協力していこうとする態度を養う。

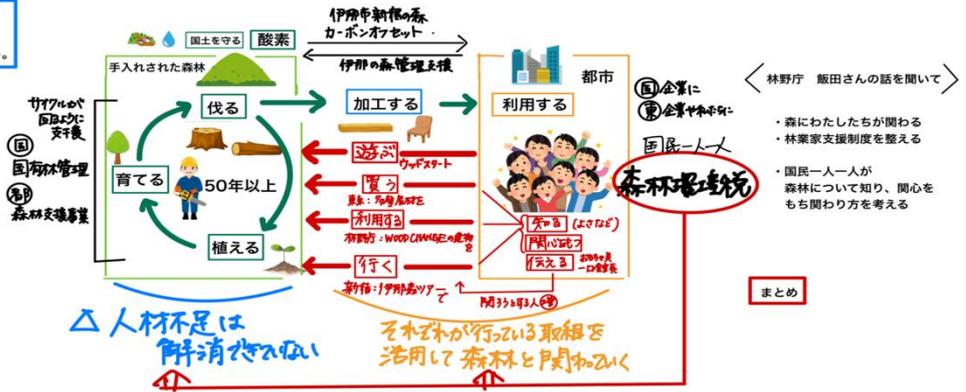
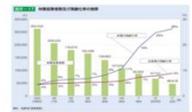
(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 5分	○前回の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">森林の保全や活用にわたしたちはどのように関わっていったらよいのだろう。</div>	◎前回のノート ◎作成した関係図 □林業家Nさんから聞いた課題を振り返り、意識させる。
展開 30分	○自分が選択した方法とその理由を話し合い、森林育成サイクルをどのように回していくのか話し合う。 ・まず、木の良さを知り、関心をもつ。そして、四谷にあるウッドチェンジ企業がつくった建物などに行って木を楽しむことが大切だと思う。(知り、建物に行く) ・新宿区のツアーを活用して、伊那の森に行ってみるのが良いと思う。実際に森に触れて森の良さを感じるのが大切だ。よさを感じることで活用につながり、サイクルが回っていくと思う。(実際に行く) ・おもちゃ美術館の一口館長になるのが良いと思う。館長になれば、おもちゃ美術館の活動を支援できて、木の良さを広めることができる。そうすると、森に関わる人の人数が増えるのではないか。(支援する、広める) ○自分たちの選択で課題が解決するのかを再度話し合う。 ・一人がやっても意味がない。みんなが行う必要がある。 ・自分たちが行動するのも良いが、人材不足という課題の解決にはなっていない。人材を増やす制度も必要では。 ○林野庁Iさんの話を聞く。 ・最新の機械が導入され、課題に対して少しずつ森林保全の仕事がよくなっていくようにしている。 ・関係機関の取組に協力して、将来を担う国民一人一人が森林について、考え、そして関わり、つながっていくことが解決の一步になるんだ。	◎林野庁ウッドチェンジ ◎東京都多摩産材推進 ◎新宿区伊那の森ツアー ◎おもちゃ美術館一口館長 □板書に子供が示したサイクルの矢印を追加していく。 □教師が適宜、問い返しを行い、理由を明確にして話し合いができるようにする。 □課題に立ち返ることで、自分たちの考えの効果を確認するとともに、未だ課題が残ることについて気付くことができるようにする。 ◎林野庁Iさんの話 ・子供の話し合いへの感想 ・森林環境税について ・課題に対する先行事例 ・子供へのメッセージ □これからの森林保全に希望がもてるように課題を解決する取組を紹介してもらう。
まとめ 10分	●これからの自分たちの森林への関わり方について考えたことをノートにまとめる。 ・林業家を支援する制度を整えていくことはもちろん、関係機関に任せるのではなく、関係機関の取組を活用しながら、わたしたち国民一人一人が森林保全や活用に関心をもち、大切な森林と関わり続けたいことが大切だ。	【態度②】 発言内容やノートの記述から「学習してきたことを基に、国民の一人として森林保全につながる取組に協力できることを考えようとしているか」を評価する。

(3) 板書計画

問い
森林保全や活用に私たちはどのように関わっていったらよいだろう。

中島さんの話
私たちが森林へ関わってほしい
人材が不足してしまっている



まとめ